

ふれあい

fureai

深谷市子どもサポート市民会議広報誌

令和2年3月号 No.16
(令和2年3月1日発行)

深谷市子どもサポート市民会議

事務局 深谷市こども未来部こども青少年課
〒366-8501 深谷市仲町11-1
TEL.048-574-6646 FAX.048-551-4480



深谷市子どもサポート
市民会議
会長 宮坂 浩平

令和元年5月より会長をおおせつかりました宮坂です。
本会議では、子ども達が活動を通して成長できるように、地域で見守り育てていくことを推進しています。

日常において、子ども達が、事件や事故に巻き込まれ、心に傷を負ったり、命を奪われてしまう場合がございます。

このような状況から子ども達を守るため、是非とも地域の皆様のご協力をいただきたいと感じています。
私の住んでいる地区でもあいさつ運動を強化し、人と人との繋がりを大切にしていきます。それが地域の力となり、地域の見守りへと繋がります。子ども達の安全を守ることに繋がると考えています。そのためにも、皆様のお力をお貸しくくださいますようお願いいたします。

安全・安心パトロール

深谷市子どもサポート市民会議では、小中学校の夏休み期間に、各地区の青少年健全育成会を中心に、地域の見守り活動として、安全・安心パトロールを実施しております。

また、これ以外にも、地域の実情に合わせ、青少年育成推進部会員の協力を得ながら、下校時の見守り活動や地域のお祭りの活動も行っております。

深谷七夕まつり合同街頭巡視

7月5日に深谷七夕まつりの会場で、合同街頭巡視を行いました。深谷市子どもサポート市民会議では、毎年、深谷七夕まつり合同街頭巡視を行っています。

19時以降に、まつり会場内を巡視し、青少年に声掛けを行い、帰宅を促しています。夏季は、日の入りも遅く、夏休みもあり、遅くまで外出しがちな青少年も増える時期ですが、そのような季節だからこそ思わぬ犯罪に巻き込まれてしまいます。そのようなことが起こらないように、青少年を地域でも見守っております。



深谷七夕まつり 合同街頭巡視の様子



青少年健全育成深谷市民大会

12月8日(日)に深谷市民文化会館にて、「こども学びスタジアム 深谷」が開催されました。その中で、小ホールでは、令和元年度青少年健全育成深谷市民大会を開催しました。「中学生の主張」の他、手紙でつむぐ「ありがとう」の思い、「3つの運動標語コンクール」「家庭の日」ポスターコンクールの表彰が行われ、盛況のうちに幕を閉じました。

令和2年度も青少年健全育成深谷市民大会を開催します。日程等は市広報、ホームページ等でお知らせしますので、皆様もご来場くださいますようお願いいたします。

中学生の主張

司会は、昨年度の「中学生の主張」で最優秀賞を受賞した渡邊春菜さん(中3)が務めました。「中学生の主張」では、応募総数1,198点から選ばれた生徒がステージで自らの主張を発表しました。審査の結果、川本中学校3年植木理紗さんが最優秀賞を受賞しました。発表者の作品は、深谷市のホームページでご覧いただけます。なお、受賞者一覧は、下記のとおりです。

「中学生の主張」受賞者一覧

賞	賞学校名	学年	名前	題名
最優秀賞	深谷市立川本中学校	3年	植木 理紗	あなたにできることは必ずある
優秀賞	深谷市立幡羅中学校	3年	村岡 幹太	一生懸命と人
優秀賞	深谷市立豊里中学校	2年	山口 真愛	コントロールするべきもの
優良賞	深谷市立上柴中学校	3年	関口 千乃	私たちの責任
優良賞	深谷市立岡部中学校	2年	鎌田 咲音	人間らしさ
優良賞	深谷市立南中学校	3年	杉山 りのん	オリンピックにおける人権問題
優良賞	深谷市立藤沢中学校	3年	峯岸 乃彩	自分らしさ
優良賞	深谷市立深谷中学校	3年	小内 貴文	大人と子どもがやるべきこと
優良賞	深谷市立花園中学校	3年	富田 玲愛	障害者と健常者
優良賞	深谷市立明戸中学校	3年	高野 美咲	ポイ捨てをなくすために
優良賞	東京成徳大学深谷中学校	2年	早川 梨乙	命の重み



「中学生の主張」受賞者記念撮影

「3つの運動」標語コンクール 最優秀賞

脱いだくつ
あなたの心を
写してる

本郷小学校 6年 金子 美遥

最優秀賞 金子 美遥さん
(本郷小学校 6年)



深谷市子どもサポーター市民会議では、「3つの運動」を掲げています。青少年が他者への思いやり、はじめやコミュニケーションの重要性を意識しつつ、心豊かに生活していけるよう、この運動を推進しています。本年度は、「3つの運動」の中の「脱いだ靴をそろえよう」をテーマとし、小学生から作品を募集し最優秀賞、優秀賞受賞者を表彰しました。

市内17小学校
応募数2,536点
最優秀賞(1点)
優秀賞(2点)
優良賞(14点)
入賞作品は、深谷市のホームページでご覧いただけます。

「家庭の日」ポスターコンクール

深谷市子どもサポーター市民会議では、親子や家族のふれあい、絆をテーマにしたポスターを、小学生から募集し、最優秀賞、優秀賞受賞者を表彰しました。

市内13小学校
応募数223点
最優秀賞(1点)
優秀賞(2点)
優良賞(10点)
入賞作品は、深谷市のホームページでご覧いただけます。



最優秀賞 田中 良侑さん
(深谷小学校 3年)



最優秀賞作品 「家族旅行」

最優秀賞作品紹介

「あなたにできることは必ずある」



川本中学校 三年
植木 理紗

先日、私は二年間大切に大切に伸ばしてきた髪の毛を十八センチ切りました。その訳と私の体験について、今日はみなさんに話を聞いていただきたいと思います。その前に、これを見てください。これは、

私の家に、もうずっと前からある「命のあさがお」の種です。この種は、平成五年にこうすけ君という男の子が小学校に入学したときに、学校で育てたあさがおの種です。こうすけ君は白血病でした。彼は入院し、骨髄移植を待っていました。受けれないまま、その年の九月に亡くなってしまいました。たった三か月の小学校生活。彼の母まみこさんは、彼の育てたあさがおの種を「命」として繋げていくことを決意しました。こうして「命のあさがお」の種はこうすけ君の故郷新潟県から全国に広がり、二十五年たって私の家にやってきたのです。

こうすけ君はなぜ骨髄移植を受けられなかったのでしょうか。骨髄移植を行うには、白血球の型であるHLA型が患者さんと一致するドナーを探さなければなりません。驚くことにHLA型が一致する確率は、兄弟姉妹でも四人に一人。それ以外では数百人から数万人に一人と、非常に稀なのです。骨髄移植の登録患者で骨髄移植を受けられるのは、全体の三分の一に留まってしまうのです。

そんな現実を知ったとき、私はじつとしていることができなくなりました。何かせずにはいられない気持ちになったのです。真っ先に思い浮かんだのはドナー登録でしたが、私の年齢ではまだできません。そんな時、「ヘアドネーション」というものに出会いました。ヘアドネーションとは、白血病などの治療で髪の毛を失った子供たちに、人の医療用ウィッグとなる髪の毛を寄付する活動です。これなら私にも！そう思いましたが、一年前の私の髪の毛は、寄付できる長さの十五センチに達していませんでした。そのため、私の挑戦は一年がかりのものとなりました。また、髪

が傷んでしまえば医療用ウィッグに加工することができなくなるため、二年間は、暑い日もドライヤーで髪を乾かしたり、食べる物にも気を使ったりと大変なことも多くありました。しかし、病に苦しむ子供たちを思えばそんなことでへこたれる訳にはいきません。それが私にできる精一杯の挑戦だったのです。

そして、遂に今年、自分の髪の毛を寄付することができたのです。美容師さんにハサミを入れてもらう瞬間、この髪がどこかで誰かの役に立つ、という嬉しさに、ほんの少し自分に自信がわいてきたような気がしました。

でも、そこでまた耳を疑うような話を聞いてしまいました。この活動を、お客さんを増やすための「偽善」と言う人がいるというのです。私は怒りよりも悲しい気持ちになりました。誰かの命を輝かせるために、何かできることを考えて活動していることをなぜ「偽善」なんて言うのでしょうか。

私はいつも思うことがあります。命とは大切でかけがえないものということを知らない人はい

ません。でも、周囲に目を向ければ白血病だけでなく病に命をおびやかされている人がいます。いじめや人間関係、人に言えぬ悩みで自らの命を絶つてしまう人もいます。最近では親からの虐待で幼い命を奪われてしまう話さえテレビのニュースで流れています。人は、自分自身が本当に苦しい時、辛い時に初めて命の重みや生きていることを真剣に見つめるものです。命は誰にでも平等に与えられているはず。毎日元気に登校して友達と楽しく過ごしている私たちは、つい当たり前の幸福の中で大切なことを忘れがちになってはいませんか。そんな私たちだからこそ何かしなくてはならないのではないのでしょうか。ヘアドネーションは二つの例にすぎません。小さなことでも目を見開いて真剣に考えてあなたにできることを一つ、実行してみませんか。こうすけ君、あさがおの花が咲いたよ。私に貴重な体験があります。

この先も命のあさがおを育て続けていきます。



令和元年度評議員会

5月16日(木)、深谷公民館大会議室にて、令和元年度評議員会が開催されました。

今回は、役員改選があり、浅見幹男前会長から、宮坂浩平会長へと会長職が引き継がれました。その他、決算及び事業報告、予算及び事業計画が提案通り承認されました。

また、深谷市教育委員会教育部学校教育課 関根正雄氏による「市内小・中学校の生徒指導の現状と課題について」を演題に講演会を開催しました。最近の市内小・中学校でのいじめ、不登校、非行問題行動、虐待に関する状況や、小・中学校及び学校教育課での対応と連携に関する事等、教育機関において全体で取り組んでいる事がわかりました。

今後の青少年健全育成活動に活用できる有意義な講演となりました。



深谷市子どもサポート市民会議
評議員会講演会の様子

深谷市子どもサポート市民会議年間活動

月日	事業名等
5月9日	第1回役員会
〃	青少年育成推進部会 第1回理事会
5月16日	評議員会
5月23日	青少年育成推進部会総会
5月27日	青少年育成埼玉県民会議総会
7月～9月	中学生の主張作文募集
7月～9月	「3つの運動」標語作品募集
7月～9月	「家庭の日」ポスターコンクール作品募集
7月5日	深谷七夕まつり合同街頭巡視
7月～8月	子ども安全・安心パトロール
9月26日	青少年育成推進部会 第1回定例会
10月15日	第2回役員会
11月12日	研修
	講演:「守ろう子どもたちを ～地域の力で～」
	講師:日本ガーディアン・エンジェルズ 理事長 小田 啓二 氏
12月8日	青少年健全育成深谷市民大会
1月22日	第3回役員会
3月1日	広報誌発行
3月	第4回役員会
年間	3つの運動
	・脱いだ靴をそろえよう
	・すすんであいさつをしよう
	・ことばを大切にしよう



令和元年度 深谷市子どもサポート 市民会議・青少年育成推進部会 全体研修会

11月12日に、「守ろう子どもたちをく地域の力で」を演題として、全体研修会を行いました。講師に日本ガーディアン・エンジェルズ理事長 小田啓二氏を迎え、講演いただきました。自身の経験を踏まえての説明が非常にわかりやすく、今後の見守り活動に資する講演となりました。

深谷市子どもサポート 市民会議の紹介

昭和56年11月、深谷市青少年健全育成市民会議が、旧深谷市にて結成され、平成18年度に現在の名称となりました。「次代を担う青少年が、心身ともに、たくましく健やかに成長することは、わたしたち市民の共通の願いであるとともに、青少年を取り巻く地域社会全体の責務である」という考えのもとに活動しています。年間を通して「3つの運動(脱いだ靴をそろえよう、すすんであいさつをしよう、ことばを大切にしよう)」を呼びかけ、青少年たちがより心豊かに過ごせるよう、この運動を押し進めています。

現在、各地区青少年健全育成会を含め、67の団体がこの考えに賛同し、活動に参加しています。各地区青少年健全育成会には、埼玉県から委嘱を受けた青少年育成推進部会員の方も参加し、活動しています。

5月の評議員会に始まり、7月の深谷七夕まつり合同街頭巡視、夏休み時期の安全・安心パトロール、12月の青少年健全育成深谷市民大会等を主催しています。地域での青少年健全育成活動がより活発になるよう努力しております。



深谷市子どもサポート市民会議は、地域の子どもの見守っています。
緊急時には、子どもの安心・安全の確保にご協力を!